

# 明治村、<sup>いるか</sup>入鹿池のことども

—今に生きる歴史をたずねて—

宇 梶 文 雄\*

名古屋における研究発表会の行事の一つ、見学会のコースに“博物館明治村と入鹿池”を入れるべく立案されたのは実行委員会が発足して間もなくのころであった。緑深い名古屋の郊外、尾張丘陵地帯に車を走らせ、発表会で疲れた頭を冷やし、今に生きる明治の建築や風俗資料を一堂に集めた明治村と入鹿池を通じて現代を考えようという意図からである。全国各地からはるばる訪れた人々にさまざまな印象を与えて、その行事もアツという間に過ぎ去った今、そのいくつかを紹介して思い出のよすがとしたい。

## (1) 明治村の建物

起伏に富んだ村内はおよそ 50 万 m<sup>2</sup>。並木道あり、庭園あり、林ありの歩道を通り丘の上を歩く。聖ヨハネ教会堂をはじめ、国の重要文化財に指定された建物 7 件。明治天皇のご料車や日本最古の京都市電。全国から集められた代表的な官庁、邸宅、商家や民家などたくさんの建物、美術品、道具類など、多くの貴重なものが集められ、あらたに移築される建物数点も運び込まれている。

### 「聖ヨハネ教会堂」(写真-1)

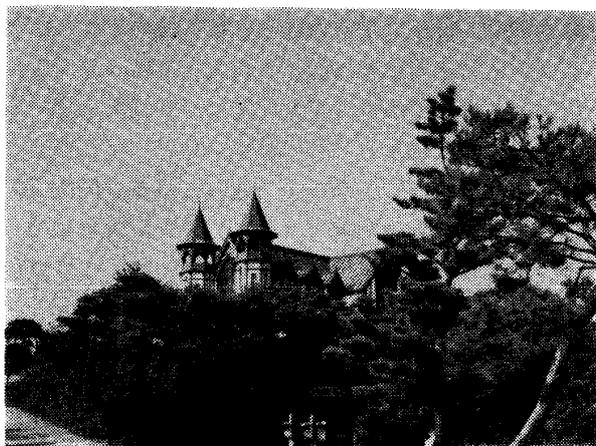


写真-1 丘上に美しい聖ヨハネ教会堂

正門を入れて右手にある丘上の美しい洋館。せん塔が空高くそびえ、エキゾチックな景観を見せる。これは日本聖公会京都五条教会堂と呼ばれていたものである。京都市下京区河原町五条下ルにあったもので、アメリカ人

\* 水資源開発公団中部支社

ジェームズ、ガーデナーが設計し、明治 40 年 4 月に作られた。1 階幼稚園、2 階教会堂として使用されていたもので、当時はこのゴシック様式教会の美しさに眼をみはったという。明治村のシンボリック建物といえよう。

### 「西郷従道邸」(写真-2)



写真-2 ヨーロッパ風建築の西郷従道邸

聖ヨハネ教会堂のすぐ前にある純洋風の木造建築で、明治の元勳の一人、西郷従道邸の別館である。設計者は不明であるが、明治 10 年代に建てられたものである。本格的なヨーロッパ様式で、屋内の暖炉、建具の金具など、ほとんどフランスから輸入されたものという。また、この建物に地震に対する配慮がなされているのは興味ぶかい。

### 「学習院長官舎」

西郷従道邸の隣りあわせにある。和洋折衷の個性のある木造建築で、東大正門をはじめ、明治の文部省の営繕工事を多く請負った石井権蔵が建築工事者であったといわれている。洋室と和室がほどよく調和した建物は、そのまま明治日本の和洋折衷様式の見本ともいえるものである。

### 「鷗外・漱石邸」(写真-3)

西郷従道邸の前には二重橋飾電灯があり、その前を少し左へ下ると鷗外・漱石邸がある。カワラ屋根を置いた純日本風の平家。明治の文豪、森鷗外、夏目漱石が相次いで住んだ東京山の手典型的な民家で、明治 23 年に建てられた。この家は東京本郷千駄木町にあって、漱石の学友で歴史学者であった斎藤阿具博士の遺族が住んでいたという。多くの人が昼の間の静かな雰囲気のかか

## 風 土 記

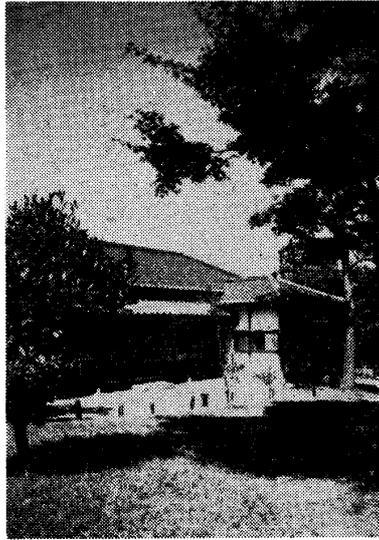


写真-3 純和風の鷗外漱石邸

ら、いくつかの傑作の一部を思い浮かべたことであろう。

## 「三重県庁舎」(写真-4)

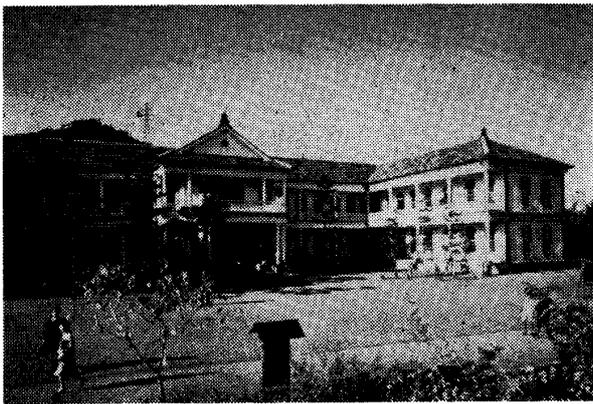


写真-4 明治の歌も流れる三重県庁舎

正門を入ってすぐの所にある。もと三重県津市にあって、明治 12 年に建設され昭和 39 年まで 85 年間、三重の政治の中心であった。明治初期の代表的な洋式の役所建築とされている。

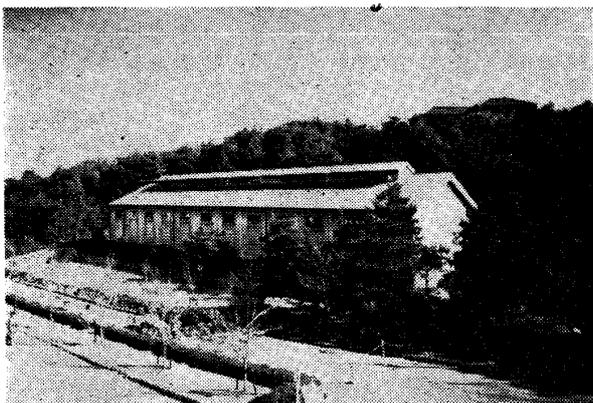
「鉄道局新橋工場と明治天皇、皇后ご料車」(写真-5)  
三重県庁舎と向かいあいのハイカラな新橋工場に納め

写真-5 鉄道局新橋工場 (この中にお召列車がある)

られてあるお召列車は、車両技術の粋をつくした優美なもので、その重厚な豪華さは目をうばうばかり。一度は乗ってみたい欲望を押さえずにはいられない。展示されているのは、明治 43 年 10 月製作の 6 号車と、明治 35 年 3 月製作の 5 号車である。

## 「第四高等学校階段教室」

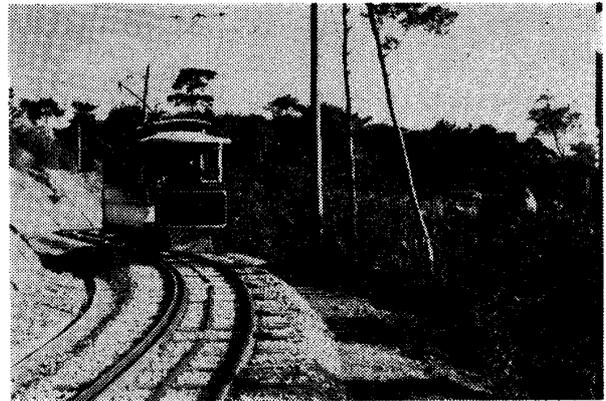


写真-6 かつての夢をのせて走る日本最古の京都市電

金沢の第四高等中学校の物理化学実験教室であった。明治 23 年 8 月に建設されたもので、その後学制改革によって、第四高等学校から金沢大学理学部となったもので、明治、大正、昭和の三代を通じ、多くの人材がこの教室に青春時代を過したことであろう。

## 「東山梨郡役所」

明治前期に各地方に建設された役所、学校などに共通する典型的な木造洋風建築である。二階建て正面にはベランダがあり、西洋風の形をとりながら、一方では日本の伝統的な手法も用いられている。

## 「歩兵第六聯隊兵舎」

軍制の制定によって明治 6 年に建設されたもので、つい最近まで名古屋大学の仮校舎として使用されていた。洋式ながら日本の伝統的な工法によって組み立てられ、使用材も大きく堅ろう(牢)なところが目だっている。

## 「名古屋衛戍病院」

歩兵第六聯隊兵舎とならんで建っている。明治 10 年頃建てられた旧陸軍病院で、残存していた管理棟の一部と病棟、巡視員詰所が陸軍衛戍病院当時のままに復元されている。

## 「品川灯台と菅島灯台付属官舎」(写真-7)

入鹿池へ突き出した岬にある。ヨーロッパの古城を思わせるような小さな白い灯台。その左手は赤レンガに白いよろい戸を持つ小さな灯台官舎である。品川灯台は明治 3 年 3 月はじめて点灯された洋式灯台で、器具などはフランス製であり、設計・施工もフランス人の手によるものといわれる。菅島灯台付属官舎は英国人技師ブラントンを主任とした外人技術者の設計で、明治 6 年 7 月に完成したものである。

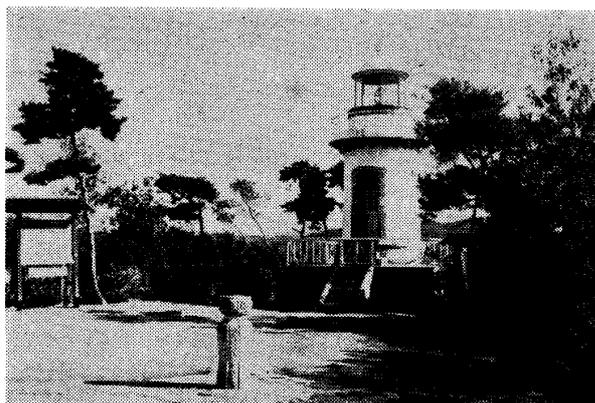


写真-7 品川灯台（喜びも悲しみも幾年月か……）

### 「長崎オランダ屋敷 25 番館」

エキゾチックな長崎の夢を長年にわたって見つづけてきたこのオランダ屋敷の本館は明治 22 年に、別館は明治 42 年に建築されたもので、入鹿池を望む高台に建っている。はじめはイギリス人 J・F・コーデルが住んでいたもので、その後は居住者がいく度か変わったという。

### (2) 入鹿池の歴史 (写真-8)

香川県の満濃池まんのうとともに、日本における代表的な古いタメ池として知られる入鹿池は、徳川の昔、尾張藩主徳川義直公がカンガイ用に 5 年の歳月を費して構築し、寛永 10 年に完成した周囲 16 km の人工池である。当時第一級のこのタメ池も、余水吐機能の不備により明治元年 5 月の大雨によってもろくも欠壊し、浸水家屋 12、

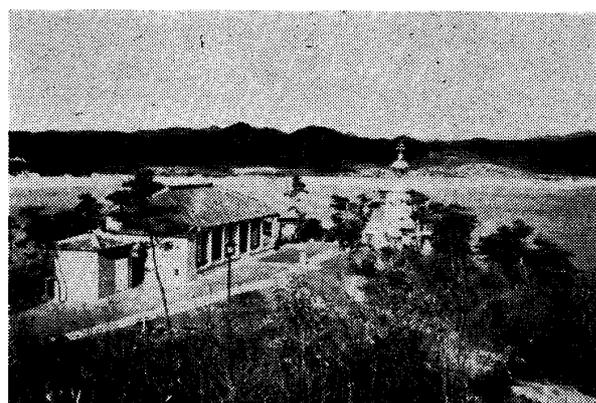


写真-8 灯台から徳川時代のタメ池入鹿池を望む

000 戸、死者 921 人という大災害を起こしたことは有名である。記録によると、湖底に沈んだ入鹿村約 160 戸の立退き補償料は住民 1 人当たり米 1 俵であったとのこと、また川の締切りのためには、油を浸した燃えやすい木を選んで木橋をかけ、その上に土を盛ってから木橋に点火し、焼け落ちる木橋と盛土によって締切ったことなど、当時の経済、技術の一端がしのばれてはなはだ興味ぶかい。

最後に、本稿の作成については、名古屋鉄道 K.K. のご協力を給わったほか、実業之日本社発行「東海と名古屋周辺」農業土木学会編「本邦高土堰堤誌」朝日新聞社編「名古屋城物語」を参照したことを付記し、謝意を表する。  
(原稿受付・1970.7.2)

## 土質工学スライド“土質調査法”発行!

土質工学会では、土質調査法のスライドの編集・発行を行なうため昭和 42 年度より土質調査法スライド編集委員会(委員長 稲田倍徳)を設け、作業を進めてまいりましたが、このたび完成発売されました。

このスライドの内容は、学会発行の“土質調査法”に準拠して編集されており、下記のとおりとなっておりますので、学生および土質技術者の教育・研修に最適と考えられますので、ぜひご購入をお勧めいたします。

- |  |  |
|--|--|
| 1. 標準貫入試験 (15 枚)                       | 13. 地盤の横方向 $K$ 値の測定 (15 枚)                         |
| 2. 動的円スライ貫入試験 (9 枚)                    | 14. 表層土のコーン貫入試験 (5 枚)                              |
| 3. スウェーデン式サウンディング試験 (9 枚)              | 15. ラジオアイソトープによる土の単位体積重量、<br>含水量試験 (22 枚)          |
| 4. 静的コーン貫入試験 (19 枚)                    | 16. 土圧測定 (22 枚)                                    |
| 5. ベーン試験 (19 枚)                        | 17. 間ゲキ水圧測定 (13 枚)                                 |
| 6. 機械ボーリング (17 枚)                      | 18. 沈下測定 (19 枚)                                    |
| 7. オーガーボーリング (7 枚)                     | 18. ヒズミおよび傾斜測定 (18 枚)                              |
| 8. 粘性土の乱さないサンプリング (28 枚)               | 定価: 45,000 円 会員特価 35,000 円ただし学校も会<br>員扱いにいたします。送料別 |
| 9. フォイルサンプラーによるサンプリング (17 枚)           | 枚数: 285 枚 (1 組単位で発売し、試験項目別では購<br>入できません)           |
| 10. 砂の乱さないウンプリング (11 枚)                |  |
| 11. 現場における土の砂置換法による単位体積重量<br>試験 (17 枚) |  |
| 12. 道路の平板載荷試験 (11 枚)                   |  |